

第1回 糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和6年1月25日(木) 10時から
- 2 会場 糸魚川市役所 201・202会議室
- 3 出席委員 教 育 長 齋藤 修一
教育長職務代理 谷口 一之
委 員 齋藤 里沙
委 員 山本 修
- 4 欠席委員 委 員 楠 愛
- 5 委員以外の出席者
教育次長 磯野 豊
こども課 課 長 嶋田 猛 課長補佐 室橋 淳次
係 長 関澤 仁
こども教育課 課 長 古川 勝哉 参 事 小川 豊雄
課長補佐 川原 隆行 指導主事 山下 太郎
生涯学習課 課 長 山本喜八郎 課長補佐 伊藤 伸一
文化振興課 課 長 嵐口 守 課長補佐 榊 正喜
博物館 館 長 竹之内 耕
書記 こども課主査 上原 奈穂
- 6 報 告
報告第 1号 感染者の確認に伴う休校等について
報告第 2号 糸魚川市いじめ防止基本方針等の改定について
報告第 3号 各課・機関所管事項について
- 7 付議案件
議案第 1号 専決処分の報告について
令和5年度糸魚川市一般会計教育費等補正予算(第7号)及び令和5年度糸魚川市一般会計教育費等補正予算(第8号)に関する意見の申出について
- 8 会議録署名委員の指名 1番 谷口委員

教育長	令和6年第1回教育委員会定例会を開会する。 本日の会議は、4番楠委員から申出があり欠席である。 報告第1号感染者の確認に伴う休校等について、事務局の説明を 求める。
こども教育課長	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	質疑なしと認め、報告第2号糸魚川市いじめ防止基本方針等の改 定について、事務局の説明を求める。
こども教育課指導主事	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
山本委員	とても良いものができた。ダイジェスト版も非常に分かりやすく て、いいのものを作ってもらった。ただ、絵に描いた餅にならない ように、教職員全員で同じベクトルで進んでもらいたいので、周知 をお願いしたい。基本方針には生徒指導支援員の役割も出ているの で、支援員自身もどこが改定されたかをよく知っておく必要がある ので、研修等をしてもらいたい。
こども教育課指導主事	周知については現段階で学校に発出しようと考えているが、4月 に教職員の異動があるので、4月にも校支援システムの回覧板機能 を利用して全教職員宛に送ろうと考えている。また、生徒指導支援 員は、週1回打ち合わせをしているので、変更点等について情報提 供、情報共有をしたい。
こども教育課長	来週の教育懇談会でこの改定について説明をする時間をいただ いた。今回の教育懇談会はいじめ不登校をテーマにしていて、広く地 域の方や保護者に知ってもらおう機会としたい。また、各学校では4 月のPTA総会にて学校のいじめ防止基本方針について説明すること になっているので、校長会で徹底するよう指導をしたい。
教育長	ダイジェスト版は、それぞれの立場の方に向けたものとなってい て、非常に分かりやすい。予算の関係もあるが、カラー版で作成す るのか。
こども教育課指導主事	教職員用と児童生徒用は学校にデータで発出し、そのデータを個 人のiPadに送信し、子どもたちはそれを見ながら先生から説明を聞 いたり、学習したりする。保護者、地域用も学校に発出して、それ を学校で印刷して、PTA総会時に配付する。地域用は公民館や施設に 何部か印刷して設置したい。
齊藤委員	子どもたちに向けてのものは、いじめは良くないということが視 覚的にもよく伝わるものになっている。大人へ向けては、もちろん いじめる方が悪いが、いじめる側ばかりを責めるような指導ではな

く、こういった背景があつて、こういう行動になったのかを大人が配慮しなければいけないことを口頭でも伝えてもらいたい。

こども教育課指導主事

現場の教員は白黒をつけることもあるが、それ以上にその背景や、その行動を起こした原因、気持ちの部分で子どもに寄り添うことを大切にしている。また、校長会や教頭、生徒指導主事が集まる研修会があるので、結果だけではなくて、その背景やケアについても、被害、加害問わずフォローしていくことを周知したい。

教育長

ほかにご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

質疑なしと認め、報告3号各課・機関所管事項について、事務局の説明を求める。

こども課 所管事項報告

こども教育課 所管事項報告

生涯学習課 所管事項報告

文化振興課 所管事項報告

図書館 所管事項報告

博物館 所管事項報告

市民会館 所管事項報告

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

山本委員

英語検定と漢字検定について、これで今年度の日程が終わりだと思うが、今年度それぞれどれぐらいの生徒児童が受検されたのか、それが昨年と比べてどうだったか知りたい。

こども教育課参事

中学校の検定は冬の日程がこれからのので、中学校についてはこれまでの実績でお答えする。まず、小学生の漢字は年間378人で、去年が411人だったので、33人の減。小学生の英語は52人受検して、昨年度が47人だったので、5人増。中学校は、現時点で漢字が50人、英語が145人、令和4年は全日程で漢字が95人、英語が313人だったので、漢字はほぼ昨年の半数がすでに受検をしている。英語については、昨年の半分を下回っている。

山本委員

児童生徒数が減っているので、割合的にどうだろうか。

こども教育課長

小学生は昨年度より80人くらい児童数が減っていて、漢字検定が33人減ということなので、割合からすると去年の実績より少しよろしくない。合否は来月にならないと分からないが、全体の受検者数は減っているが、受検した級を見ると、5級以上の子どもが昨年度よりも増えている。同一の児童が受けたのかは分からないが、補助金を出しているなので、その積み重ねでどんどん上の級を受検しているのではないかと考える。5級は小学校卒業程度のレベルで、小学生については5級を目指している。この数年間、補助を続けてきた

	成果として捉えている。
山本委員	検定の補助金を出していることが成果として上がってきているといい。
教育長	中学校後半日程が終わり次第、実績を集約して、分析をして、次年度への働きかけ、年度末の整理をお願いしたい。
谷口委員	マイスター・ハイスクール事業の成果発表会が素晴らしかった。中学生が高校生の頑張りを直接見られる機会は今まであまりなかったと思う。海洋高校は市外県外から来ている生徒が多いが、地元の子どもにも進学してもらいたい。そういう面では効果的ないい機会だった。先ほどの報告で、海洋高校が全国のトップランナーとして活躍をしているという話があった。今後またつながるような取組も予定されているようだが、分かる範囲で教えてもらいたい。
こども課長補佐	詳細はまだ決まっていないが、今までの事業をさらに広域に広げるネットワーク作りに対して、文部科学省が新たに委託をする事業を計画している。期間は2年間で、補助予定とする委託事業費についてはこれまで1,300万円程度だったのが700万円から800万円ぐらいに若干金額が下がるという話を聞いている。
教育長	中学2年生が初めて探究の成果発表会を聞いたが、中学生の受け止め方はどうだったか、どんなふうに高校生の姿を見たのか。専門的な内容の報告も多かったが、その辺りも中学生なりの受け止め方はどうだったのかという情報収集は行ったか。海洋高校としても初めての取組だったので、気になる部分ではないか。
こども課長	市内4校の中学校2年生に声掛けをしたのは初めてだった。市内にはこういった高校があることを少しでも知ってもらおうことが狙いだと聞いている。そういった中で今回参加した中学生の感想等については学校も事務局も把握をしていない。新年度に入ってから、学校説明会等がある。その中で中学生からの意見を聞く機会が出てくると思う。機会があれば、高校にも聞いていきたい。
教育長	せっかくの取組なので、その辺りの成果、特に中学生の立ち位置からどのように高校生の姿を学んだのかという部分の内容を整理しておく必要がある。糸魚川高校や白嶺高校も探究に関する活動報告をやっているので、その内容に成果的な部分があれば、次年度以降は両校の発表会にも中学生に来てもらって、もっと広げていくという選択もできるので、その基礎データとして今回の取組の内容をまとめてもらいたい。そして、高校にその内容を伝えて、今後の取組の検討材料にぜひ活用してもらいたい。
齊藤委員	上越市の小学生が校外学習で海洋高校に行ったという話を聞いた。糸魚川市内の小学生も海洋高校に行く機会はあるのか。
こども課長	高校でも出前講座があり、今年度は市内の小学校に先生と生徒が訪問をして、講座を開催したと聞いている。

教育長	海洋高校と能生小はすぐ近くということもあり、以前から取組を続けている。
齊藤委員	上越から来て、フォッサマグナミュージアムを見学して、海洋高校の養殖場や相撲場を見学したと聞いた。また、その小学校には相撲部の生徒が来るといったつながりもあるようだが、糸魚川市内では能生小以外につながりがある学校はあるか。そういった取組がマイスター・ハイスクールにもつながっていくのではないか。
谷口委員	以前は相撲部が市内の小学校に行って教室を開催していた。相撲連盟の指導者と生徒が行っていた。マイスター・ハイスクールと直接の関係はないが、相撲連盟は小学生向けの大会も開催している。大会だけではなく、相撲部の活動も小中学生につながられる部分があると思う。
齊藤委員	図書館の福袋がすごく好評だった。実際に利用したが、職員の人柄が分かるような内容だった。職員の人柄が伝わってくると、居心地が良く、居場所としての価値が上がる。質を高めることも利用者の増加につながると思うので、こういった取組はとてもいい。
生涯学習課長補佐	受付窓口は顔であり、そこが笑顔で気持ちいい対応をすると印象が全然違ってくる。窓口業務は委託をしているが、気付いた点があれば教えてもらいたい。
齊藤委員	キッズフェスタは1会場にしたことでの問題点はなかったか。
生涯学習課長補佐	今回は1会場で集中して開催した。規模は糸魚川地区公民館のほうが広いが、冬場の開催で降雪状況が読めなかったのも、より駐車場が広い保健センターで開催をした。特に冬場にこだわって開催したわけではなく、イベントが多い10月、11月を避けて、寒さも心配だったが、今回開催した。来年は冬に限らず夏場の開催も検討する中で会場も選定したい。会場の規模としては若干狭かった気もするが、今回の参加者的にはちょうど良かった。
齊藤委員	子どもスタッフのボランティアが素晴らしかった。まさに多世代交流の場になっていた。小学生も主体的に関わろうとしていて、本当に学びになると感じた。能生の児童館で小学生が自分たちで運営委員を作って縁日を企画していた。これに近いものがある。来年度もここに力を入れられれば子どもたちの学びになるのでぜひお願いしたい。
山本委員	私もキッズフェスタに参加した。子どもスタッフがとても良かった。知っている中学生もいて、何人もの生徒が主体的に低学年の子どもに接していた。参加意欲もあり、とても良かった。発展的に続けていただきたい。
生涯学習課長補佐	担当者が能生の児童館を参考にした。今年度やってみて本当に良かった。恥ずかしながら呼び込み等もやってくれていた。来年度は企画段階から携わっていただければいい。

谷口委員

不登校の状況は全国的にも増加傾向にあり、小学校から中学生に上がる段階が特に増える。3学期になったので、来年に向けて今後の進路を学校でも指導をしていると思うが、市全体としてこの問題を考えなければならない。いじめ不登校の行動計画も出ている。不登校に対しての具体的な策は簡単にはないが、みんなで考えていかなければならない。工夫して実践している学校や頑張っている学校もたくさんある。うまくいっていない事例を聞かせもらう機会があってもいい。現場の先生の悩んでいる声や具体的な声を聞かせてもらったり、懇談したり、話をする機会があればいい。

教育長

教育懇談会のメインテーマになっているので、講演やパネルディスカッション等でそれぞれ不登校の子供たちと直接関わっている関係者との意見交換の場面を設定している。より多くの人たちに聞いてもらい、理解してもらうことが最初の一步だと思う。その後どのような応援体制ができるか。糸魚川市としてどんな環境作りができるか。応援体制と環境作り、その基礎的な部分のスタートラインに教育懇談会を位置付けているので、多面的な部分での意見交換になればいい。ぜひ教育委員の皆さんからも参加してもらい、一緒に話を聞いてもらいたい。

一点、紹介をしたい。今回、糸魚川市の文化財をテーマに大和川地区公民館で出前講座を開催し、担当補佐からは出前講座のメニューをたくさん揃えていると報告があった。博物館の出前講座はジオパーク学習の関係で、これまでも多くあったが、文化財関係についてはなかなか出てこなかった気がしていて、今回の開催は非常に嬉しい。出前講座のメニューは各公民館や学校にはどのように発信しているか、工夫をしていることがあれば教えてもらいたい。

文化振興課長

今回開催した講座は地域計画の中期計画の内容が主なものだった。今までそういったことを紹介する機会は確かに少なかった。今後は地域計画の開始に伴い、アンケートを実施して、需要に応じてメニューを作り、そして公民館や学校にメニューを提示したいと考えている。まずは需要を聞いて、私たちのできるところを整理して、選んでもらいやすいようにしたい。

教育長

この分野については期待感が高まる部分で、糸魚川はジオパークの関係から地学とか自然系が多くなるが、歴史・文化や文化財についても、両輪のごとく、盛り上げていきたい。これからの取組によってはその盛り上がり方が変わってくる。それが、さらに郷土愛につながると考える。自分たちの故郷の魅力を知ることは、愛着形成、郷土愛の育成にとっても大事なことで、この分野の耕しに期待する。

文化振興課長

現在、モデルケースとして上能生地区と西海地区公民館にその地域の言い伝えや文化的なものをまとめた冊子を作ってもらった。そういったものを紹介しながら、地域で取り上げていただく。

教育長

どの地区にも、そういった宝物はいっぱいあると思うので、生涯学習、学校教育、親子学習を含めて、メニューにアレンジを加えていけば、いろいろな実践例、活用例が出てくる。これから一歩ずつ、できるところから固めていきたい。

谷口委員

ジュニアスポーツ指導者のための補助金交付の規則が制定された。部活動の地域移行が始まり、資格がないと試合に出られないことがあり、私自身も資格を取得中だが、結構お金かかる。今まではこういう制度がなく、それぞれの競技団体で協会や連盟が補助をしたり、個人負担で支出していたのではないか。こういう制度ができて良かったし、今後は地域移行に伴って指導に関わる人は資格が必要になるのではないか。いろいろな競技団体で悩んでいるところだと思うので、ぜひ周知していただきたい。また、教員免許状所有者だと、スタートコーチの最初の講習があまり負担なく取得できる制度もあるので、広く周知をしてもらいたい。

生涯学習課長

部活動の地域移行や総合型地域スポーツクラブ等で、資格を取得してもらい、どんどん関わってもらいたいと新たに制定したので周知に努めたい。

教育長

ほかにご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

質疑なしと認め、付議案件に入る。

議案第1号専決処分の報告について、令和5年度糸魚川市一般会計教育費等補正予算(第7号)及び令和5年度糸魚川市一般会計教育費等補正予算(第8号)に関する意見の申出について、事務局の説明を求める。

教育次長

(資料に基づき説明)

こども課長

(資料に基づき説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

ご質疑なしと認め、採決に入る。

議案第1号について、ご異議はないか。

委員

(「異議なし」の声あり。)

教育長

異議なしと認め、承認する。

原案のとおり承認

教育次長

次回教育委員会定例会開催

令和6年2月13日(火) 10時から

その他 特になし

教育長

以上で、令和6年第1回教育委員会定例会を閉会する。

11:16 終了